



令和3年10月29日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

秋と冬が一緒に来たような季節、木々の葉も紅葉しようか、そのまま散ってしまおうか迷っているようです。子どもたちも、季節や気温の変化をしっかりと感じているようで、北園庭で遊ぶ姿が以前より少なくなり、太陽の光が沢山降り注ぐ南園庭がにぎわっています。新型コロナウイルス感染拡大は落ち着いてきていますが、今まで身に付けた生活様式を崩さず、安心安全な毎日を心掛けていきましょう。

子どもたちが生きる未来とわくわくデイ

先日のわくわくデイ、温かい拍手をありがとうございます。日頃の生活の中から、子どもたちが行っている遊びを種目にしてわくわくデイを行いました。アンケートから、保護者の皆さんが子どもたちの成長を感じてくださったことが伝わってきました。ですが、中には『練習はしないの?』と思われた方もいらっしゃると思います。『練習をして行うわくわくデイ』と『遊ぶ経験を重ねて行うわくわくデイ』どちらも終わった後に、子どもたちは達成感を感じることでしょう。言葉は同じでも、違いがあります。練習の場合、『〇〇をする』ということが決められ、繰り返すことで「できた!」という達成感です。一方、遊ぶ経験を重ねた達成感は、『より良くしたい!』と挑戦し「できた!!!」という達成感です。子どもたちが生きる未来は、今ある仕事の約半数が消える可能性があると言われてます。わくわくデイに向かう過程で、『より良くしよう』と挑戦する経験を重ね、変化するものに対応する力が付きます。予測もしていないようなことに出会っても、たくましく生き抜く力、そのような力を子どもたちに身に付けて欲しいと願っています。

共に育つ

さくら組さんとほし組さんが一緒に遊ぶ姿が、以前より増えてきました。さくら組さんは、「何しているのかな?」「ほし組さんがやっている遊びをしたい!」「ほし組さんと遊ぶと楽しい!」と思っているのでしょう。そして、沢山のことに気付いていきます。ほし組さんは「さくら組さんかわいい」「さくら組さんが喜んでくれて嬉しい」また、自分では気づいていないようですが、教える中で相手に分かるように説明し、やっている遊びについて様々な確認をし、次への発見ができています。異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶことで共に育っているのです。異年齢の関わり、大切にしていきたいと思えます。



さくら組11月のおだわらっ子の約束
早寝 早起きして 朝ご飯を食べます

ほし組11月のおだわらっ子の約束
人の話をきちんと聞きます